

室蘭港長期構想検討委員会 第3回委員・幹事合同委員会

[会議録概要]

日 時：2020年11月30日（月）午後2時00分開会
場 所：蓬峯殿 黎明の間 A～瑞節の間 B

室蘭港長期構想検討委員会第3回委員・幹事合同委員会 意見概要

分類	内容
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・方針が7つあったとしても、その中での重点項目が強調されており、ただ単に羅列しているわけではないところに感心した。 ・きれいに整理されて、新しい知見も加えて、要領よくまとめており、この計画が将来実現されることを強く期待したい。 ・大変よくまとまっており、今後の10年、20年、室蘭港、室蘭市、室蘭周辺の企業に対する行政の新たなメッセージという形で読み取ることが出来る資料になっている。 ・いくら計画を絵に描いたとしても、それは絵に描いた餅であって、これは実現化して行かなければならず、途中で不足の事態が発生したり、今後、いろいろな事があっても計画を柔軟に変えていく、柔軟に遅らせていく体制が必要かと思う。 ・地元企業への配慮を感じ、大変ありがたく思う。 ・様々な方面からの意見を基に中身を整理したと考えており、一つ一つ短期のものから長期のものまで、実現していくことが重要になっていくと思う。
物流・産業	<ul style="list-style-type: none"> ・国際拠点港湾ということで、一番のところにもものづくりを置いているというのは外に対して分かりやすいメッセージかと思う。 ・直接計画に関わる事ではないが、これを機会に外部環境、例えば RORO 船に関する関係法令をもう一度整理してみるとよいと思う。 ・トラック輸送は安全が基本であり、なおかつ、輸送効率という観点では、決められた時間に迅速に届くということが求められており、今回、臨港道路の整備という項目が入っているのは非常によいと思う。 ・現存する航空宇宙産業に関わる取り組みについて丁寧に記載していただいている。
人流・賑わい	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ需要は感染症が収まれば復活してくるのは目に見えているため、5年以降、10年くらいの間を見据えて計画をつくっていくのは非常に大事だと思う。 ・新たな産業が来ていただくと船が入ってきて、乗組員という多くの消費者が来るため、室蘭のまちの活性化を進めて、憩いの場、消費する場ということで活性化できると思う。ため、この計画の推進を期待している。 ・短期にあるキャンプ場、バーベキュー場、アウトドア施設について、例年、キャンピングカー、車内泊が道の駅まわりに多く訪れるが、野外で火を使える場所がなかなかないため、このような施設は早急を実現して頂きたい。 ・ソフト面は色々と意見が出て盛りだくさん書かれているが、これをいかに丁寧に行っていくか、これを書いて終わりではなく、実際に優先順位をつけてお金をかけなくても出来ることはすぐにやり、室蘭全体を盛り上げて頂ければと思う。 ・国内外の旅客については、現在の状況から増えていくときに、国内から先に出てきて、少し時間がずれてくる可能性もあり、その際に、国際旅客と国内旅客に関わる観点が分かれるようなところについては、そういう観点で入れ込むことで短期的な取り組みがより明確になってくると思う。
エネルギー・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・洋上風力発電について書き込んでいるのは非常に重要であり、これから洋上風力発電の支援基地として、あまりお金を掛けずに活用できる北海道の港は実は室蘭しか

<p>エネルギー・ 環境</p>	<p>ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、CO2削減という意味でも風力発電が盛り込まれているのは大変意義のあることだと考えている。 ・洋上風力、水素に関連して期待が非常に大きく、得意分野でもあることからやっていかなければならないと思う。 ・第2時中期経営計画にあるとおり、再エネ発電容量を100万kwにするということで、室蘭も候補の一つであり、こうした計画をしっかりとっていけるようにプロジェクトを遂行して、地元の活性化に繋がるようにしっかりとっていきたいと思う。 ・今後、新エネルギーや洋上風力など新たなニーズに対して、室蘭港の大水深だったり、ストックがいっぱいあることを活かして、スピーディーに対応できる、支援ができることを強いメッセージとして取り組んで頂きたいと思う。
<p>安全・安心</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理として感染症に対する対策をしっかりと書いている。